

二次医療圏における脳卒中、てんかん、認知症の相互関係、重複病態についての研究

1. 研究の対象

西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2025 年 3 月 31 日までに南和歌山医療センター脳神経外科で、脳卒中、認知症、てんかんの病名で入院、外来診療を受けた方

2. 研究目的・方法

田辺医療圏は人口約 11 万 2000 人を対象とする二次医療圏であり、当院は同医療圏の唯一脳神経外科医訓練施設のため、脳卒中やけいれん重積といった神経救急疾患や、認知症、てんかんなど慢性疾患にいたるまで、頻度の高い神経疾患を有する患者さんが集まります。

脳卒中、認知症、てんかんの 3 つの主要脳疾患は、互いに合併したり、因果関係があったり、鑑別が難しいことがあるなどといわれていますが、実際の臨床現場で詳しいことは分かっていません。

本研究では、脳卒中、認知症、てんかんについて、当院入院、外来患者の電子カルテ記録を元に、3 疾患の因果関係、重複病態について実態調査を行います。

本研究で得られる知見は、脳卒中、認知症、てんかん診療の教育、啓発に活用でき、二次医療圏の多くの神経疾患患者の診療に有益となることが期待されます。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、治療歴、高次脳機能検査所見、カルテ番号、MRI 画像、脳波、血液検査結果等

4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

5. 研究組織

国立病院機構南和歌山医療センター脳神経外科

西林宏起（研究責任者）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立病院機構南和歌山医療センター

和歌山県田辺市たきない町 27 番 1 号

TEL: 0739-26-7050

副院長(脳神経外科) 西林宏起